

東木ひさよ

おれんじ通信 第23号

「地球にも人にもあたたかい、
市民が一体感を感じられる藤沢へ！」

9月度藤沢市議会定例会では、食品ロス削減とリサイクルの推進、子育て世代や「老人クラブ」に対する支援、孤立化防止策などについて提案しました。



「食品ロス」削減で、環境にも家計にもやさしい暮らしを！

食べられるのに捨てられてしまう食品(食品ロス)は、日本で年間632万トン。そのうち5割が家庭からの廃棄で、一人一日お茶碗一杯分の食べ物を捨てている計算になります。

「食品ロス」は、もったいないだけでなく、廃棄物処理のための燃料による温暖化の促進、水資源の損失、廃棄された食品処理のためにかかる税金など、地球環境への負荷や経済的損失も大きいものです。

食べ物をもっと無駄なく、大切に消費していくために。

市民ひとりひとりが意識を変え、「食品ロス」削減に取り組んでいくことが重要です。



東木ひさよから藤沢市への要望と提案

- ★ 藤沢市地産地消推進計画の中でも「食品ロス」削減に関する施策の構築を提案。
- ★ 料理教室などを通じ、捨ててしまいがちな葉っぱで佃煮を作ったり、食材を使い切る工夫やレシピなどで、**市民の方々への意識づけ**を！



「フードバンク」の開設で、必要な方たちへの支援を！



余ったり、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を必要な方たちへ届ける「フードバンク」。

県内の某市では、市と社会福祉協議会、大手コンビニエンスストアの3者が連携して食料の提供を行っています。

藤沢市も、他業種では大手スーパーや食品会社と提携を結んでいることから、市独自の「フードバンク」設置が可能と考え、その可能性と必要性について提案しました。

「食品ロス」を減らす4つの工夫

- ① 食材を「**買い過ぎず**」「**使い切る**」「**食べ切る**」をテーマに冷蔵庫の使い方を学ぶ。
- ② 残った食材は**別の料理に活用**。
- ③ 「**消費期限**」と「**賞味期限**」の違いを理解する。
- ④ **外食時の食べ残し**を防ぐ。



野菜の切れ端も上手に活用すれば、栄養たっぷりのスープに変身！

誰もが孤立感のない温もりのある地域づくりへ。

「みんなで子育て～ひとりじゃないよ～」で、子育て世代を応援！



児童虐待の問題が深刻化し、クローズアップされる昨今、すべての子どもたちの命を社会全体で守っていく仕組みづくりが求められています。

子育て企画課が作成した「みんなで子育て～ひとりじゃないよ～」は、子育て世代の生きづらさを感じている皆さんに「地域みんなが見守っている」という温かなメッセージを届けるとともに、地域の方々が自信を持って若いお母さんに声を掛けられる、子育て世代を応援できる内容になっています。

そこで、同冊子をさらに多くの方々に知っていただくためのセミナー開催や冊子を活用しての地域づくりなどを提案しました。

「老人クラブ」の活性化で、高齢者の社会参加を促進。

市内の「老人クラブ」の状況を見ると、毎月の定例会に加え、ゲートボールやグランドゴルフ、小学校のおはようボランティアから公園清掃、交通安全など、皆さん幅広いボランティアに参加され、会報・広報宣伝物などもご自分たちで編集・発行するなど、とても若々しく活動的です。

今後の超高齢社会を迎えるにあたり、ますます重要度が増すものと考え、提案を行いました。



東木ひさよから藤沢市への要望と提案



- ★現状では、1つのクラブ会員数が30人を切った時点で解散になるため、**人数が減少しても存続できるような仕組みづくり**を！
- ★運営費について、他の事業、支援制度なども併せて活用するなど、**活動しやすい環境整備**を！
- ★「老人クラブ」の活動内容や魅力をもっと多くの方へ知っていただくために、未加入の方々へのアンケート調査などを含めた**幅広い視点での検討や支援**を！

孤立を防ぎ、地域とつながる社会づくりを！

単独世帯の方の孤立予防やお困りごとの早期発見につながる「老人クラブ」の「友愛活動」。さらなる活動を進めていくために、各市民センターや公民館の職員の方のコーディネートで、民生委員児童委員協議会やいきいきサポートセンターとの連携・協力を要望しました。

また「社会的孤立」を防ぐことを目的に、困っている方へきちんと支援の手が届くよう、福祉の相談窓口「バックアップふじさわ」や地域で活動するコミュニティソーシャルワーカーの周知拡大について提案しました。



ひがしき 東木ひさよプロフィール

東木ひさよ
Facebook



藤沢市議会議員2期。

北海道旭川市出身、北海道立旭川東高、明治学院大学卒。

H30年度建設経済常任委員会副委員長、行政改革特別委員会委員

(H25、26年度厚生環境常任委員会副委員長、H27、H29年度子ども文教常任委員会委員長、H28年度総務常任委員会副委員長、行政改革特別委員会委員を歴任)。



(0466)88-1125



hisayo2011@yahoo.co.jp